

22. ことばかけ

子供一人一人の思いや願いの実現に向けた活動を大切にする生活科や子供一人一人が自らつかんだ課題を追求していく活動を大切にした『総合的な学習の時間』においては、子供が体験的な活動に没頭したり、夢中になって対象にかかわったりする姿を多く見かけます。

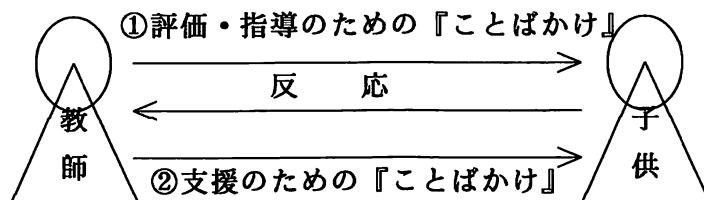
そこでは、子供の活動を支えていくために、一人一人の子供に対する『ことばかけ』がとても重要になっていきます。

ことばかけとは

『ことばかけ』は、主として幼稚園教育で重視されてきた教育方法で教師が子供を支援する活動の一つである。支援の前提には、そのための評価が必要である。

『ことばかけ』は、大きく2つのタイプに分類できる。

- ①評価・指導のための（内面を見取るための）『ことばかけ』
- ②支援のための『ことばかけ』



- ・称賛.....「すごいね！」「～～やったからできたんだね」というように子供の活動を褒める
- ・励まし.....子供の積極的に活動に取り組んでいる姿を認め、さらなる意欲をもたせる
- ・紹介.....「〇〇ちゃんはこんな工夫をしているよ」「上手にできているよ」というように活動や製作物を意識的に他の子に広める
- ・問い合わせ.....「何をしているの？」「どうしたいの？」というように思いや願いを引き出す
- ・助言.....子供の思いや願いが実現するように、取り組みに対してヒントを与える
- ・示唆.....子供の思いや願いが実現できるように、取り組みに対して方向性を与える